

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	住民主体による地域住民会議からの地域魅力アップ事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ほこほコネクト 宮下 090-2661-3941
事業区分	地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,240,480 円 (うち支援金: 929,000 円)

事業内容

- ① 真田^{まる}ミーティングの実施
地域の団体、個人、行政がフリーの参加で行うミーティング。各回に『〇』にテーマを入れ実施した。
・メインとして年度内12回実施(小さな派生型7回実施)延べ1,732名が参加した。
- ② 地域情報コンテンツの作成
・真田地域の住民と外部者向け総合情報サイト『いなかのなか』を作成した。
- ③ ガイド動画の翻訳
・外国人観光客等に対応すべく地域の観光ガイドの翻訳を行った。



【地域のPTAとの合同講演会】

【目標・ねらい】

- ① 地域内の人や団体がつながる
- ② 固定化しないゆるやかな人のつながり
- ③ 地域情報の共有・発信

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ミーティングを通じて知り合ったり協働作業をすることで、団体の単独イベントから団体同士が気軽に他の事業でつながる事例が増えた。(例: 中学校の生徒会のプロジェクトを地域住民が協力して実施。NPO 法人やまぼうし自然学校+NPO 法人さなだスポーツクラブの連携してのイベント、地域内で新たな地域おこしのイベント団体の発足など)
- ② 歴史観光以外の人物や地域の魅力を共有できる基礎が築くことができた。
- ③ インバウンド対応が遅れていた地域に、海外の方向けのガイドを作成することができた。

※自己評価 【B】

【理由】

・新聞、雑誌に取り上げられるなど外部の注目度と期待が高かったが、地元の盛り上がりには時間を要する。しかし、仕掛けから着実につながりと活動者が出てきている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ミーティング自体は毎月の単独実施から、地域内のイベントや行事に協力として地域の団体同士の協働をさらに促すものとして継続して実施していく。
- ・コンテンツに関しては、地域内に地域を取材する記者的なボランティアを設けてコンテンツの情報更新と記事作成にあたり地域の魅力を高めると同時に地域内情報共有に努める。このコンテンツ内に翻訳動画が掲載。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある